

魅力的な近江八幡市 具有魅力的近江八幡市

文：近江八幡市 译：赵宏 郭子龙

近江八幡市は、日本のほぼ中央に位置する滋賀県にあります。滋賀県の中央には日本最大の湖「琵琶湖」があり、近江八幡市は琵琶湖最大の島「沖島」、琵琶湖最大の内湖「西の湖」を有しています。面積 177.45 km²（うち琵琶湖 76.03 km²）、人口約 8 万人です。

古くから陸上・湖上の交通の重要な場所という地の

利を得て、多くの城が築かれ、城下町も開かれました。現在も歴史的遺産が市内のあちこちに点在し、風情のある景観が残る町並みが受け継がれています。

京都から電車で約 30 分、大阪からも約 1 時間と交通アクセスの良さも魅力のひとつです。京都や大阪からひと足のばして、歴史と自然をゆっくりお楽しみください。



近江八幡市位于日本中部的滋贺县。滋贺县中心有着日本最大的湖泊——琵琶湖，琵琶湖的最大岛屿“冲岛”以及最大的内湖“西之湖”都在近江八幡市。全市面积177.45平方千米（其中琵琶湖占地76.03平方千米），人口约8万人。

近江八幡市自古以来便是日本陆路与水路交通的重要枢纽，得益于地利优势，这里修建起许多城池，城邑

也随之形成。如今，市内各处分布着丰富的历史遗迹，仍保留着历史风情景观的街道得以传承至今。

从京都乘坐电车到近江八幡市约需30分钟，从大阪到这里约需1小时，如此便利的交通条件也是近江八幡市吸引游客的原因之一。大家可以从京都或大阪移步至近江八幡市，尽情享受这座城市的历史底蕴和自然风光。



© びわこビジターズビューロー
© 琵琶湖游客信息中心

ふる まちな —古い町並み—

近江八幡市は古くから陸上・湖上の交通の重要な場所という地の利を得て、戦国時代の武将織田信長が「安土城」、豊臣秀吉の甥、豊臣秀次が築いた「八幡山城」など多くの城が築かれ、城下町も開かれました。また、織田信長により開かれた楽市楽座注（商業の自由化）は、豊臣秀次に引き継がれ、近江商人の基礎が築かれました。

注：楽市楽座，“乐市乐座”政策，指日本从战国时代到近代初期，由战国大名实施的旨在繁荣城邑商业的政策。

—古街道—

近江八幡市自古便因地处陆路与水路交通的重要位置而获益。当年，城主们在这里建造了诸多城堡，包括日本战国时代的武将织田信长建造的安土城、丰臣秀吉的外甥丰臣秀次建造的八幡山城，等等，城邑也随之发展起来。此外，织田信长首设的“乐市乐座”政策（旨在促进商业自由化）被丰臣秀次继承下来，这为近江商人（的发展）奠定了基础。

きゅうしがいち ふる まちな ねん とよとみひでつぐ
旧市街地にある古い町並みは、1585年に豊臣秀次が
はちまんやま しる きず はじ ふね かいどう リ
八幡山に城を築いたことに始まります。船や街道を利
ようして おお ひと じょうほう ぶんか はい
用して多くの人や情報、文化が入ってくる地の利を活
かし、はちまんやまの 城下町は おうみしょうにん かつやく ちゅうしん
八幡山城の城下町は近江商人が活躍する中心
地として はんえい
地として繁栄しました。

ふる まちな
古い町並みのあるエリアは、くに 伝統的建造物
ぐん ほぞん ちく せんてい げんざい うつく
群保存地区に選定されています。現在も美しく伸
びた ござん じょう まちな いしがき かこ
びた碁盤目状の町並みや石垣に囲まれた八幡堀に
めんした 土蔵群が たいせつ のこ
面した土蔵群が大切に残されており、当時の面影を
かん ぜんさく ぼり ふね たの
感じながら散策をしたり、堀を船から楽しんだりする
ことが でき
出来ます。

新町通り

しんまちどお
新町通りは、えど じだいまつき めいじ けんちく
新町通りは、江戸時代末期から明治にかけて建築さ
れた おうみしょうにん ていたく のこ
れた近江商人の邸宅がまともに残っています。庭
から 生えた まつ の 木 えだ とおりに かお だす
から生えた松の木の枝が通りに顔を出す「見越しの
まつ など、特徴的な造りの町家が並んでおり、昔な
がらの ふうせい かん
風情を感じることができるエリアです。

老城区古街道的历史可以追溯至1585年丰臣秀次在八幡山修筑城堡之时。当时，大量移居者、（外来）信息和文化借助水路和陆路涌入，得益于此，八幡山城的城邑作为近江商人活跃的中心地区繁荣了起来。

近江八幡市拥有古街道的地区被选为“日本国家传统建筑群保存地区”。如今，城区的棋盘状街道依旧规整、畅达，市区内还保留着珍贵的古建筑，如被石墙环绕的八幡护城河、临护城河的仓库群等。人们可以一边感受旧时景象，一边悠闲漫步，还可以乘船游览护城河。

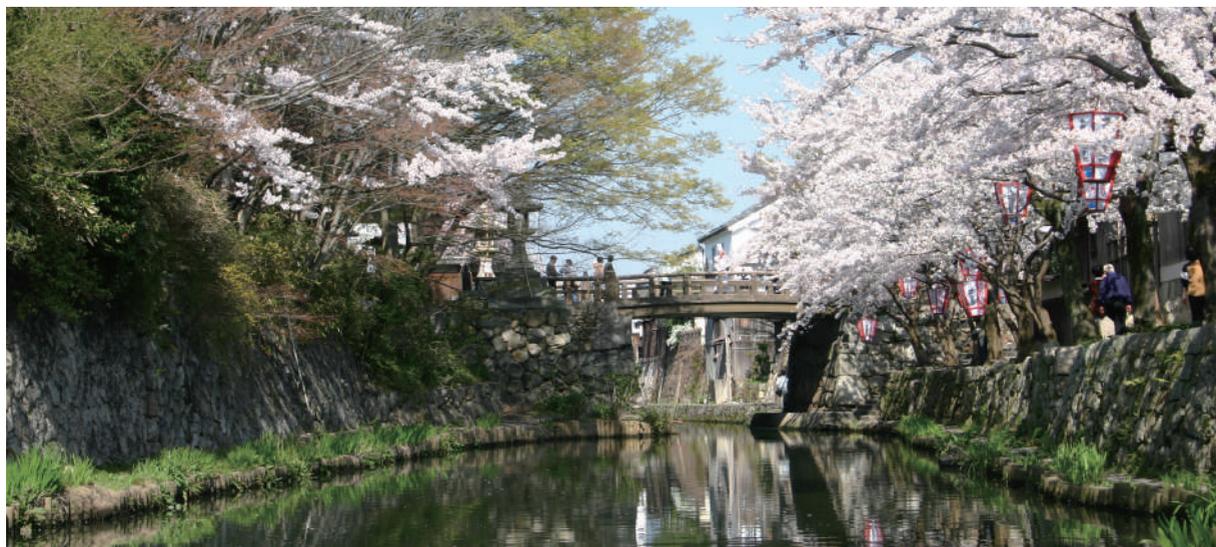
新町路

新町路集中保留着建于江戸时代末期至明治时代的近江商人的宅邸。“瞭望松”从庭院里探出枝头，颇具特色的商人宅邸排列整齐，这条路能够给游客带来穿越时空般的体验。



八幡堀

かつて全国で活躍した近江商人の発祥と発展、また町の繁栄に大きな役割を果たしました。陸上交通の発展により利用されなくなった八幡堀は廃れてしまい、埋め立てられる予定でしたが、地元の保存再生運動の力により、現在も美しい姿を残しています。堀に沿って白壁の土蔵や旧家が立ち並ぶ風景は、映画やドラマのロケ地としてもよく使用されています。夜間はライトアップも実施しており、日中とは違った幻想的な八幡堀を楽しむことができます。



— 安土城跡 —

近江八幡市には、かつて戦国時代の武将織田信長が天下統一の拠点として築いた、最後の居城「安土城」がありました。安土城は、同じ時代の他の城とは性質が異なり、戦いよりも権威を見せるための造りが特徴で、大阪城など近世の城の先駆けとなっています。

八幡护城河

八幡护城河曾为活跃在日本各地的近江商人的诞生与发展，以及城市的繁荣发展起到了重要的促进作用。然而，随着陆路交通不断发展，八幡护城河逐渐荒废，虽然当地曾有填埋计划，但是在当地古物保护和修缮活动的推动下，该护城河至今依旧是城市中一道靓丽的风景线。在护城河沿岸，白墙仓库和旧时民居鳞次栉比，此处常被用作影视作品的取景地。夜间，护城河上会点亮灯光，游客们能感受到一种不同于白天的梦幻氛围。

— 安土城遗址 —

在近江八幡市，曾有一座名为“安土城”的城堡，它是由日本战国时代的武将织田信长建造的，这座城堡是织田信长逐鹿日本的根据地，也是他最后的居城。安土城与同期存在的其他城堡有着本质上的区别，相比于军事作用，它更多是为了织田信长宣扬织田家的权威。同时，它也为大阪城等日本近代城堡的建造提供了参考蓝图。

安土城は、築城開始から10年ほどで焼失してしまったため、いまだ謎に包まれた部分が多く残されており「幻の城」とも呼ばれています。現在は、重厚な石垣や礎石が残っており、国特別史跡に指定されています。天主があった山頂まで歩いて登ることもできます。

安土城があった安土山では、20年がかりで発掘調査を行う大規模な整備事業「令和の大調査」が昨年より進められており、安土城の解明を目指しています。

由于安土城从开始建造到被烧毁只有10年的时间，围绕安土城至今仍存在层层迷雾，因此，它也被称为“幻之城”。时至今日，厚重的石墙与基石仍然沉睡在这片土地上，日本政府将这里指定为“国家特别古迹”。安土城天守阁位于山顶，游客可以步行攀登至天守阁。

为了揭开安土城的神秘面纱，从去年开始，日本政府在安土城所在的安土山展开了“令和大调查”，这是一项需要历时20年才能完成的大规模整修工程。



のぶなが やかた 信長の館

1992年に開催されたスペイン・セビリア万博へ出展された原寸大の安土城 天主 (5、6階部分)が展示されています。

信长之馆

目前，“信长之馆”中展示着与实物等大的安土城天守阁（5层和6层），这座复原的天守阁曾于1992年在西班牙塞维利亚世界博览会上展出。



© 内藤昌 ないとうあきら © 内藤昌

あづちじょうかく しりょうかん 安土城郭資料館

安土城のひな形が実物の20分の1の大きさと再現されています。豪華華麗な城の細部まで忠実に再現されている意匠は圧巻です。

安土城郭資料館

安土城の模型是按照与实物成1:20的比例制作的，这座雄伟壮丽的城堡的细节都得到了真实再现，其精湛的设计和工艺令人惊叹。

— おうみはちまん ひまつ 近江八幡の火祭り —

左義長まつり

春の訪れを告げるお祭り、織田信長が始めたといわれています。毎年3月中旬に日牟禮八幡宮で行われる火祭りであり、国選択無形民俗文化財に選定されています。

左義長の中心にある「山車」は、その年の干支にちなんで造り物が据え付けられています。造り物は、費用を惜まず、食材（豆、胡麻、昆布など）を使って約2～3カ月かけて地域の人々によって手間ひまをかけて作られています。

まつり当日は町中を練り歩き、「喧嘩」と呼ばれる左義長同士のぶつかり合いが繰り広げられます。最後は神社の境内で奉火され、2日間にわたる祭のクライマックスを迎えます。

— 近江八幡的火节 —

左义长祭

左义长祭是一个宣告春天到来的祭典，传说它是由织田信长设立的，织田信长郑重地参与到祭典活动中，还曾亲自穿着华丽的服装跳舞。每年三月中旬在日牟礼八幡宫举行的火节入选“日本国家指定无形民俗文化遗产”。

最大的左义长花车上装饰着当年的生肖动物形象。这些动物形象由当地人不惜成本，以豆类、芝麻、海带等食材为原材料，花费两三个月的时间精心制作而成。

在祭典当天，左义长花车之间相互碰撞，这被称为“斗争”，游行队伍穿行于整座城市。最后，人们会在神社的院内点燃花车，将为期两天的祭典活动推向高潮。





八幡祭り

毎年4月14・15日に日牟禮八幡宮で行われる、千
数百年の歴史を誇る伝統のお祭りです。14日は松明
への奉火を行う火祭り「松明まつり」、15日は太太鼓
が宮入する「太鼓祭り」が実施されます。

松明には、10mに及ぶ大きさのもの、火を付けな
がら手で振りかざす「振り松明」、引きずりながら持ち
込む「引きずり松明」など、各町によって様々な大
きさや形のものがあり、訪れる人の目を楽しませて
くれます。

八幡祭

日本传统祭典——八幡祭拥有千百年历史，于每
年4月14日、15日在日牟礼八幡宫举行。14日是火节中
的“火把祭”，人们会点燃火把；15日则是火节中的
“太鼓祭”，人们会将大太鼓迎入神社。

长达10米的大型火把、可拿在手中挥舞的“手持
火把”，以及需要拖着入场的“拖拽火把”，等等，
各町大小形状各不相同的火把为游客们带来一场视觉
盛宴。

© びわこビジターズビューロー
© 琵琶湖游客信息中心

— おうみはちまん すいごう — — 近江八幡の水郷 —

琵琶湖最大の内湖である「西の湖」^{にし こと} 一帯に広がる日本最大の水郷地帯は、『ラムサール条約』^{じょうやく} 注に登録されており、日本三大水郷にも選ばれています。「西の湖」の周囲にはヨシの群生地と田畑の中を網の目のように幾重にも入り込んだ水路が走っています。この水郷地帯を屋形船で巡る「水郷めぐり」は、織田信長が、白旗の疲れを癒すために宮中の遊びをまねたことが始まりとされています。船頭さんとの会話を楽しみながら、季節ごとに違った自然の原風景をゆったりと堪能できます。

ヨシに囲まれた「西の湖」は、周りの建物が見えず日本の昔ながらの原風景を感じられるため、時代劇などのロケ地としてもよく使用されています。

— 近江八幡的水郷 —

日本最大の水乡位于琵琶湖最大的内湖——西之湖一带，目前已被登记于《拉姆萨尔公约》，并被评为“日本三大水乡”之一。西之湖周围是芦苇的集中生长地，水道呈网状，纵横穿插于芦苇荡之中。乘坐屋形船游览这片水乡的“水乡巡游”活动，据说起源于织田信长效仿宫廷游乐以缓解日常疲惫的休闲活动。在这里，游客可以一边与船工师傅惬意攀谈，一边悠闲领略当季的自然风光。

西之湖四周芦苇环绕，不见一处屋舍，能够让人感受到日本古老的原始风景，因此，常被人们用作时代剧等影视作品的取景地。



注：『ラムサール条約』^{じょうやく}，《拉姆萨尔公约》，简称《湿地公约》，旨在通过国际合作促进湿地的保护与合理利用，该条约中登记了国际上重要的湿地保护区。

この地域のヨシは、その品質の素晴らしさから「江州よし」として全国的に知られており、2025年大阪・関西万博のシグネチャーパビリオンにおいて、山の循環と宮みを象徴する茅葺屋根の素材にも使用されています。

该地区的芦苇以其出色的品质享誉日本，被称为“江州芦”。在“2025年大阪·关西世界博览会”的特色展览馆中，江州芦将被作为茅草屋顶材料使用，这象征着山地资源的循环与利用。



交通アクセス

交通路线

陸路

陸路

鉄道

- ・大阪駅 → 近江八幡駅、約 60 分
- ・京都駅 → 近江八幡駅、約 30 分
- ・東京駅 → 米原駅（新幹線）、約 2 時間 15 分 → 近江八幡駅、約 20 分

乘坐列车

- ・大阪站至近江八幡站，约需60分钟
- ・京都站至近江八幡站，约需30分钟站
- ・东京站至米原站（乘坐新干线），约需2小时15分钟；再至近江八幡站，约需20分钟

車

- ・関西国際空港 → 近江八幡駅、約 2 時間
- ・伊丹空港 → 近江八幡駅、1 時間 30 分
- ・中部国際空港 → 近江八幡駅、約 2 時間

自驾

- ・关西国际机场至近江八幡站，约需2小时
- ・伊丹机场至近江八幡站，约需1小时30分钟
- ・中部国际机场至近江八幡站，约需约2小时

制作協力：日本国自治体国際化協会北京事務所（CLAIR, Beijing）
 本文协助单位：日本国自治体国際化協会北京事務所（CLAIR, Beijing）